

令和5年度事業報告及び附属明細書

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

I 会員の状況

令和6年3月31日現在

会 員 区 分	現 在 員	令 和 5 年 度 入 退 会 状 況		
		入 会 者	退 会 者	増 減
名 誉 会 員	36名	0名	1名	△1名
普 通 会 員	1,140名	49名	96名	△47名
一 般 会 員	159名	10名	10名	0名
全国賛助会員(個人)	54名	30名	12名	18名
地域賛助会員(個人)	58名	31名	19名	12名
合 計	1,447名	120名	138名	△18名
団 体 会 員	11名	2名	0名	2名
全国賛助会員(団体)	1名	1名	0名	1名
地域賛助会員(団体)	0名	0名	0名	0名
合 計	12名	3名	0名	3名

II 事業概要

1 公益目的事業

(1) 灯台参観業務

- ① 参観灯台において、地元関係団体と協力して一般の方々への航路標識事業の周知啓蒙に努めた。

令和5年度の参観者数は、705,618人となり、新型コロナウイルス感染症の影響が出る以前の令和元年度(674,721人)を超える数値となった。

- ② 新型コロナウイルス感染症については、令和5年5月8日に感染症法上の位置づけが5類に見直されたことにより、これまで同感染症の拡大防止のため行っていた業務休止等については、実施しなかった。

- ③ 海上保安庁による灯台改修工事等のため、次のとおり参観業務を休止した。

- 出雲日御碕灯台：令和5年5月9日～7月9日、10月16日、20日、
12月6日～7日、令和6年1月24日、3月27日
- 犬吠埼灯台：令和5年6月2日～4日
- 入道埼灯台：令和5年6月8日～26日
- 平安名埼灯台：令和5年7月7日～15日
- 野島埼灯台：令和5年7月11日～12日、20日～21日
- 潮岬灯台：令和5年7月11日、11月14日～24日

- 都井岬灯台：令和5年7月23日～25日
 - 御前埼灯台：令和5年9月6日～7日、令和6年3月13日～15日
 - 角島灯台：令和5年9月8日、令和6年2月21日
 - 大王埼灯台：令和5年10月18日
- ④ 季節参観である尻屋埼及び入道埼灯台については、それぞれ令和5年4月8日に業務を再開し、11月5日まで実施した。
- ⑤ 参観灯台をPRするため、各灯台の魅力を伝える灯台リーフレットの作製・配布、ホームページ、インスタグラムなどSNSを活用した各種情報の発信、各灯台入口に設置したイーゼル板により「のぼれる灯台の魅力」をアピールするとともに、集客効果が見込まれる、安乗埼、潮岬、角島及び出雲日御碕の各灯台については、ポスターを作成し、地元自治体、観光施設等に配布し、掲示を依頼した。
- ⑥ 参観者及び地元関係者からのニーズに応え、通常の参観時間を延長し、日没から灯台点灯時における「夕暮参観」、「夜間参観」を犬吠埼、御前埼、安乗埼、潮岬及び残波岬灯台において実施し、灯台の魅力発信に努めた。
- なお、出雲日御碕灯台においては、灯台ワールドサミット in 出雲に合わせて、夜間参観を実施した。
- ⑦ 灯台参観を一層楽しんでもらうために実施している灯台スタンプラリーは、年々人気が高まっており、すべての参観灯台の参観を達成された方が、令和4年度は、102名のところ、令和5年度は、新たに168名の方が達成された。
- (2) 展示室業務
- ① 11箇所の参観灯台に当会が設置している資料展示室を灯台参観に合わせ公開した。
- ② 施設・設備の修繕等について、令和5年度は、特に展示資料の老朽が著しかった都井岬灯台資料展示室の展示リニューアル整備工事を完了したほか、その他、業務運営上、緊急を要するものについて実施した。
- ③ 志摩市、下関市から委託を受け、両市が設置している安乗埼、角島の各資料展示室の管理を行った。
- (3) その他の周知広報業務
- ① 灯台記念日祝賀会については、新型コロナウイルス感染防止のため、令和元年度の151周年の祝賀会以降、中止していたところ、令和5年11月6日に4年ぶりとなる155周年灯台記念日祝賀会を開催し、約150名の出席者があった。
- ② 「灯台絵画コンテスト2023」として、全国の小・中学生を対象として、「灯台のある風景」をテーマとした募集を行い、過去10年間で最高の991点の応募があり、9月14日及び15日の審査委員会^{*1}により選定した各部門（小低、小高、中）9点の入賞作品計27点の中から、国土交通大臣賞、海上保安庁長官賞及び燈光会会長賞各1点並びに各部門金賞1点、銀賞2点及び銅賞5点が決定された。

表彰については、被表彰者の地元において、海上保安部長等から伝達していただいた。

※1：委員会委員：上野委員長、高橋副委員長、三野委員、不動委員、高野委員

- ③ 地域振興を図る市町村、航路標識協力団体、その他灯台愛好市民団体などと連携してイベント等を実施するとともに、航路標識に関する調査・研究、周知・広報、観光振興等の活動に積極的に支援・協力を行い、航路標識事業の周知啓蒙、発展に努めた。

<後援・連携>

- ・灯台ワールドサミット in 出雲（出雲市）
- ・とよまの灯台星空観望会（とよまの灯台倶楽部）
- ・犬吠埼灯台夜間公開（ラストサマー実行委員会（銚子市観光協会））

<地方自治体等>

- ・大王埼灯台の日毎参観者数データの提供協力（志摩市）
- ・灯台活用推進協議会への参画（志摩市）
- ・灯台ワールドサミット in 出雲への参画（出雲市）
- ・プレミアムパスポート事業及び縁結び台設置への協力（男鹿市）
- ・横須賀市内の周遊観光動向調査への協力（横須賀市）
- ・しず旅スタンプラリーへの参加（静岡県）
- ・出雲日御碕灯台ライトアップ事業への協力（出雲市）
- ・いわき市観光バスツアー誘客事業への協力（いわき市）
- ・GOGO 房総デジタルポイントラリーへの協力（千葉県）
- ・瀬戸内海国立公園指定 90 周年企画展（来島海峡と潮流信号所）への協力（愛媛県）
- ・日本政府観光局デジタル情報発信事業への協力（日本政府観光局）
- ・外国観光誘客促進事業への協力（千葉県、秋田県、福島県）
- ・参考図書「わたしたちの神奈川県」製作への協力（神奈川県）

<報道関係>

- ・「灯台を読む」番組制作への協力（BS 朝日）
- ・「ざつ旅」アニメーション番組制作への協力（地上波、BS、CS 放送局）
- ・「のど自慢」番組制作への協力（NHK）
- ・「旅するエプロン（ジップ）」番組制作への協力（日本テレビ）
- ・「ごちそうさまのカタチ」番組制作への協力（BS フジ）

<個人、団体からの問合せ等への対応>

- ・杉並区立郷土博物館による「大正天皇の後 貞明皇后展」に協力し、灯台写真や資料提供を行ったほか、地域と灯台の歴史を調査している郷土史家、灯台研究生をはじめとする灯台に興味を持つ個人などからの資料提供、問合せ、質問

等に対応した。

- ・参観灯台のある市町村の観光協会や、一般財団法人船員保険会、公益財団法人日本海事広報協などの団体による会報誌作製などに係る灯台写真、情報の提供等に対応した。

<情報誌等>

- ・旅行に関する情報誌やWEB運営者である「じゃらん」、「るるぶ」、「まっぷる」、「JTB パブリッシング」、「ナビタイム」などによる参観灯台の紹介に係る灯台写真、参観情報等への資料提供、記載情報校正・確認などのへの協力に150件ほど対応した。

- ④ 「美ら海フォトコンテンツ」等、海上保安庁（管区本部、保安部等）が各地域で行う航路標識関係の催し26件に対し、後援者として支援協力を行った。
- ⑤ 会誌「燈光」を隔月発行、関係先に配付し、航路標識事業の周知広報に努めた。
- ⑥ 歴史的航路標識資料の適正な整理・保存のためデータベース化を進め、燈光会ホームページ上で「航路標識資料データベース」として公開し、情報の拡充を図った。
- ⑦ のぼれる灯台（参観灯台）を題材とした灯台カレンダーを作製、配布することにより航路標識の周知広報に努めた。
- ⑧ 全国の主要灯台に設置した航路標識周知板の表示の更新を行うとともに、効果の低下した周知板の撤去を実施した。
- ⑨ 歴史的な航路標識資料の保存を図るため、今年度解体された船の科学館（公益財団法人日本海事科学振興財団）敷地内の模造灯台にて保存展示されていた旧稚内灯台の第3等フレネルレンズの譲渡を受けた。
- ⑩ 一般社団法人日本宝くじ協会の助成により、冊子「のぼれる灯台16基」改訂版を製作し、航路標識事業の周知啓蒙資料として関係先に配布した。

(4) 航路標識協力団体^{※2} 関連手続き

「航路標識協力団体の指定に関するガイドライン」に基づき、令和4年度における各参観灯台の年次活動実績報告書を令和5年6月26日付にて海上保安庁あて提出した。

※2 航路標識法第7条第1項に基づき、当会は、令和4年2月22日付にて、参観灯台ごとに航路標識協力団体の指定を受けた。

2 互助事業

- (1) 会誌「燈光」を隔月発行、会員に配付した。
- (2) 2024年版「灯台カレンダー」を作成し、会員に配布した。
- (3) 海上保安学校本科情報システム課程、管制課程への教材等の助成を行った。
- (4) 無線従事者資格等航路標識業務に有用な資格取得者延べ35名に対し奨励金を支給した。（内訳別紙）
- (5) 会員の子弟6名に、奨学金を貸与した。（内訳別紙）

- (6) 会員の遺族 12 名に対し、弔慰金を支給した。
- (7) 会員の慶事に対し、祝電 10 通を送付した。
- (8) 米寿を迎えた会員 10 名に記念品を贈呈した。

III 庶務事項

1 定時総会（令和 5 年 6 月 22 日）

令和 4 年度事業報告及び収支決算報告、任期満了に伴う役員を選任、定款の一部改正について審議し、原案のとおり承認可決された。

2 理事会

・ 第一回（令和 5 年 5 月 9 日）

令和 4 年度事業報告及び収支決算報告、理事任期満了に伴う役員を選任、定款の一部改正、令和 5 年度定時総会について審議し、原案のとおり承認可決された。

また、代表理事及び業務執行理事から職務執行状況について報告があった。

・ 第二回（令和 5 年 6 月 22 日）

役付理事の選定、役員退職慰労金支給について審議し、原案のとおり承認可決された。

・ 第三回（令和 6 年 3 月 21 日）

令和 6 年度事業計画、令和 6 年度収支予算について審議し、原案のとおり承認可決された。

また、代表理事及び業務執行理事から職務執行状況について報告があった。

IV 登記事項等

令和 5 年 6 月 26 日 内閣府あて「令和 4 年度事業報告等」提出
審査完了

令和 5 年 6 月 29 日 法務局あて「変更登記（理事の変更）」申請
6 月 29 日登記

令和 5 年 7 月 20 日 内閣府あて「変更の届出（役員の変更）」提出
審査完了

令和 6 年 3 月 25 日 内閣府あて「令和 6 年度事業計画等」提出
審査完了

V 事業報告の附属明細書

令和 5 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。